

平成 21 年度 研究戦略プロジェクト事業進捗状況報告書

平成 21 年 11 月 26 日

| | |
|------------------|-----------------------------------|
| プロジェクト No. | K2112 |
| 研究課題名 | 世界の中の日本を理解するために最低限必要な近現代史教育の教科書作成 |
| 研究代表者名 (所属・職位) | 山根 徹也 (国際総合科学部・准教授) |
| 研究期間 | 平成 21 年 7 月 7 日～平成 22 年 3 月 31 日 |
| 決定額 | 合計 2,400,000 (円) |
| 10 月 31 日までの執行状況 | 合計 342,215 (円) 執行率 14.3% |

●平成 21 年 7 月 7 日～10 月 31 日までの進捗状況報告

| |
|---|
| <p>進捗状況</p> <p>これまでの研究経過やユニットで研究を行っている場合はユニット内での打合せ状況等を具体的に書いてください。</p> <p>本計画と連動する学内授業「歴史から今を知る」の今年度分が 9 月 30 日に始まり、現在、進行中である。ユニットでは第二回授業にあわせて 10 月 7 日に会議を行い、今後の予定を確認した。これと前後して、本研究計画の目標である、大学生レベルの近現代世界史教科書の出版のための努力をした。その結果、山川出版社が本研究の意義を認め、出版する方針を固めてくださった。山川出版社の編集者との会合と打ち合わせは、11 月 5 日に本学キャンパス内で行われ、計画の詳細を協議した。</p> |
| <p>今後の見通し・外部研究費への申請予定</p> <p>※ 共同研究推進費、若手人材育成推進費は研究成果の活用として、<u>研究期間終了後、直近の科研費</u>への申請が必須条件となっています。</p> <p>※ 地域貢献促進費は研究成果を課題提案者に報告書として提出することになっています。</p> <p>※ 共同研究 B は、今後の機器整備の予定やその機器を利用して大型外部研究費どのようにつなげる予定なのかを具体的に記載してください。</p> |
| <p>【今後の見通し】</p> <p>研究プロジェクトでは、連動する授業を計画どおり行うほか、本年末に原稿のとりまとめ、来年には具体的な出版の準備を行い、来年末までに書籍を刊行する予定である。</p> |
| <p>【外部研究費への申請予定】</p> <p>1.文科省科学研究費補助金 <input checked="" type="checkbox"/>有 (分野：人文社会科学) <input type="checkbox"/>無</p> <p>2.厚労省科学研究費補助金 <input type="checkbox"/>有 (分野：) <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>3.受託研究費 (民間) <input type="checkbox"/>有 (委託元：) <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>4.受託研究費 (国) <input type="checkbox"/>有 (委託元： 、事業名等：) <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>5.共同研究費 (民間) <input type="checkbox"/>有 (共同研究相手：) <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>6.奨学寄附金 <input type="checkbox"/>有 (備考：) <input checked="" type="checkbox"/>無</p> |

7.受託事業

有（委託元： ） 無

8.助成金

有（助成元： ） 無

H22 年度継続研究意向の有無

※H21 年度の共同研究推進費ならびに地域貢献促進費に採択された方のみ回答してください。

※H22 年度継続研究を確約するものではありません。

有 無

（有の場合は、H22 年度実施予定の研究概要を以下に記載します）

※ 枚数は問いません。資料の添付可。